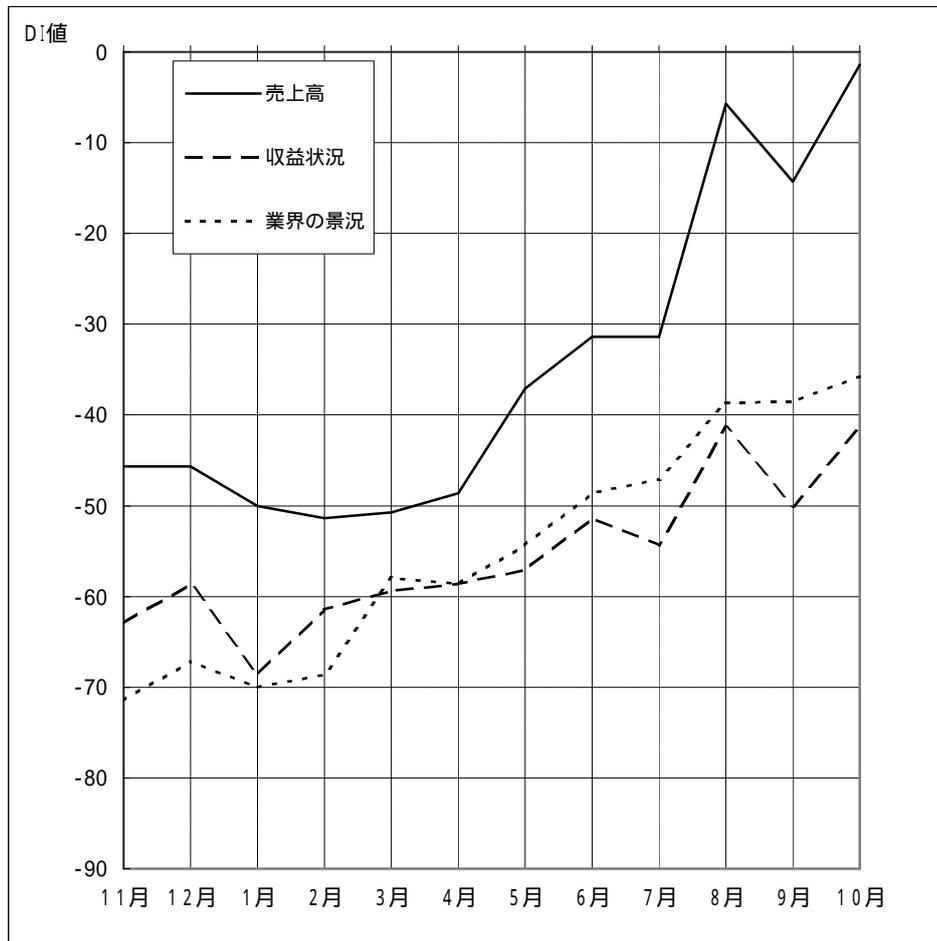


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成14年11月～平成15年10月

単位:ポイント



	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	-45.7	-45.7	-50.0	-51.4	-50.7	-48.6	-37.1	-31.4	-31.4	-5.7	-14.3	-1.4
収益状況	-62.9	-58.6	-68.6	-61.4	-59.4	-58.6	-57.1	-51.4	-54.3	-41.4	-50.0	-41.4
業界の景況	-71.4	-67.1	-70.0	-68.6	-58.0	-58.6	-54.3	-48.6	-47.1	-38.6	-38.6	-35.7

10月のDI値をみると、全ての項目で改善が見られた。顕著に改善した「売上高」は、12.9ポイントの改善であり、2ヶ月前から高いポイントを継続している。「収益の状況」は、8.6ポイント改善し、8月同様のポイントに推移した。「業界の景況」は、2.9ポイント改善であった。中小企業の景況は、僅かに持ち直しに向けた動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

業種別に見ると製造業では、「売上高」で、「食料品」、「繊維・同製品」、「紙・紙加工品」に増加がみられ、「業界の景況」では、「繊維・同製品」は悪化した。非製造業では、「売上高」で、「卸売業」、「小売業」、「建設業」、「運輸業」に増加がみられたが、「商店街」は減少し、「業界の景況」では、「小売業」が改善したが「商店街」、「建設業」で悪化している。総体的には製造業よりも非製造業のほうが景況感が悪い傾向値にある。

組合の特記事項からは、「繊維・同製品」のニット、「木材・木製品」の製材、「鉄鋼・金属」の金属製品、「一般機器」の機械製造、「建設業」の土木工事で売上増に繋がる活発な報告があった。しかし、その他の多くの業種で受注減や単価の値上がりと安売り競争での板挟みに苦しみ、売上減とする報告があり、中小企業の状況は依然として厳しい状況であることが窺える。